

再生医療・創薬のための AI技術を応用した細胞の非破壊画像品質評価

～実験屋と解析屋二面性を磨く～

2025年 4月 25日(金) 16:00-17:30

会場:鳥取大学医学部米子キャンパス内 臨床講義棟 421 講義室

講師: 名古屋大学大学院創薬科学研究科 准教授
加藤 竜司氏



ハイブリッド開催 | 事前申し込み制 | 参加無料

データサイエンスは、膨大且つ複雑な生命科学の発展に欠かせない技術として発展しており、バイオインフォマティクス～AIモデルの活用まで様々な応用事例が生まれている。先端的AIや機械学習技術を、大規模な生物学的データに適応することで、再生医療・創薬研究、医療機器開発などにおいて、低コストで効率的な研究推進と、人間では気づけなかった新しい発見も期待される。本セミナーでは、細胞分子情報学の分野において、細胞画像情報から細胞の定量評価、予測技術、自動培養装置開発、薬剤評価方法開発など、さまざまな細胞の品質や培養技術の定量化などで成果を上げる講師より、具体的な研究成果の事例をもとに、生物の実験能力とバイオインフォマティクスによる解析力、“実験屋と解析屋の二面性を磨き併せ持つことで、目の前の問題をより工業的・実践的に解決しうることを、将来展望とともに解説する。

申込

<https://forms.gle/hh5moKL1w3tAmAzZA>

「QRコード」または「お申込みフォーム」からお申し込みください。



連絡先:公益財団法人鳥取県産業振興機構バイオフロンティア推進室 (担当:野口)
〒683-8503鳥取県米子市西町86 (鳥取大学米子キャンパス内)
TEL (0859)37-5131 Mail tbft@toriton.or.jp ホームページ: <https://www.bio-frontier.jp/>

主催:公益財団法人鳥取県産業振興機構バイオフロンティア推進室